

広島別院だより

Vol.15
秋号

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

あきひがんえ 秋彼岸会 勤まる

九月二十三日（金）、別院において秋彼岸会が勤まりました。

僧侶・門徒ら約三十名による『往生礼讃偈』の唱和の後、安芸高田市吉田町の徳栄寺（芸備組）三上誓範師の法話がありました。

三上師は「古くは平安時代に始まるお彼岸は、太陽が真西に沈むこの季節に西方浄土を念ずる仏事として大切に伝えられてきた」と彼岸の歴史に触れ、「お寺へ法事などで祖父母に連れて来られた子ども達が本堂の中を元氣いっぱい走り回り、次第にお寺の秀囲気を知っていく。そのように念仏の教えも先祖から子孫へと伝えられてきた経緯がある。

過去から現在へ、どのように続いてきたのかという歴史を訪ね、未来へどう続けていくかを考えていきたい」と教えを次世代に伝えていくことの大切さを話されました。



講師：三上誓範 師

お寺の活動いろいろ

安芸北組真宗同朋の会推進員養成講座

八月二十一日（日）から安芸北組真宗同朋の会推進員養成講座がスタートしました。

講師は日豊教区の伊藤元先生をお迎えします。参加者は四十一名で、一年間、五回の講座をおとして私たちの拠りどころとするところを明らかにし、真宗門徒としての歩みを再確認していきま



真宗基礎講座開講

十月十五日（日）真宗基礎講座が開講しました。

当日は広島カープのクライマックスシリーズにもかわらず、五十名以上が参加し、熱心に受講されました。

この講座は、今まで開催してきた仏教基礎講座が終了し、新たに『歎異抄』を中心に浄土真宗の基礎を学ぶ講座として始まりました。

講師は前回に引き続き古田和弘先生（大谷大学名誉教授）をお迎えし、来年の六月まで全五回開催します。

※日程は裏ページをご参照ください。

仏華講習会 開催

九月二十一日（木）広島別院を会場に鷲聲会（らんじょうかい）の例会で、「仏華講習会」が開催されました。

講師は大阪教区の寺院を中心に構成された全国で活躍されている仏華研究会「ちいちの華」から洲崎善範氏（大阪教区第十三組即念寺住職）をお迎えし、荘厳・仏華の講義と、講師による法要用と平常用の立華の実演をしていただき、後半は会員が二人一組に分かれて立華の実技の講習がされました。

「仏華は扇型に広げる様に思われるが、どちらかというと前後に広げ、奥行きを大切にしてほしい」と話されました。



広島別院団体参拝

左記の団体が広島別院明信院に参拝されました。遠近各地よりお参りいただき誠に有難うございました。

八月二十六日（金）

大阪教区

第二十七組 様

お寺のハテナ？ 位牌・法名軸・過去帳



真宗では位牌は用いません。法名軸もしくは過去帳を用います。

法名軸は掛け軸のようなもので、亡くなられた方の法名を書いたものです。法名軸には故人の法名を一人だけ書いたものと、連名で書いたものがあります。お内仏の側面にピンなどでとめます。

過去帳はたくさんの方の名前や法名を記載することができるので便利です。過去帳はお内仏の正面ではなく、左右どちらかの脇に置きましよう。

位牌は死者の名前を書いた単なる板ではありません。中国人の靈魂観は、靈魂には2種類の「たましい」

「魂」と「魄」があると考えます。「魂」は精神的要素で、死んだら位牌に宿ります。「魄」は肉体的要素で、お墓に埋められます。位牌を大事にするのは、この靈魂観が日本人の心の底にあるからです。

真宗ではどうして位牌を使わないかという点、亡くなった人が靈魂になったのではなく、仏さまになられたからです。「亡くなられた方たちは、私たちにお念

仏を称えてくれ、仏法を聞いてくれと勤めておられる諸仏です。



浄土真宗では、位牌は用いません。法名軸をお内仏の側面にお掛けします。

法座・講座等の御案内

◎広島別院報恩講

【期日】 十二月七日(水)・八日(木)
【講師】 講師 桑門真昭師 (安芸南組 常念寺住職)

日程 ■七日(水) 一四〇〇～速夜勤行(入楽)と法話
一六〇〇～初夜勤行と御伝鈔の拝読

■八日(木) 八〇〇〇～晨朝勤行と法話
一〇〇〇〇～日中勤行(入楽)と法話

※入楽とは雅楽演奏の入る法要です。

広島別院報恩講をお勤めいたします。ご家族ご友人お誘いあわせのうえ、是非ご参詣ください。



道場樹 編集室より、

九月末、両堂修復完了を記念して自坊の「門徒さん二十数名と真宗本廟を参拝しました。行ききのバスの中では御遠忌のDVDを視聴し、「皆様をはじめ全国の同朋のご懇志により二〇〇四年からの修復が完了した。今回の参拝で皆様それぞれに何かよい出遇いがあれば嬉しく思います」と挨拶しました。

二時間かけて両堂を参拝し、諸殿を拝観しました。両堂の荘厳さと併せて、参拝接待所の方々の懇切な案内に参加された皆さんは「来てよかった」と異口同音に参拝できたことを喜ばれていました。帰りに「門徒さんの一人が御影堂門の脇に掲げられていた「たまたま行信を獲ば、遠く宿縁を慶べ」という言葉に気づかれ、その意味を私に尋ねられました。

それに対し「きょう、ここにお参りできたのは阿弥陀さまのお力というのではないのでしょうか?」とお答えしたのでした。

(M・M)

◎定例法話

毎月 5日 (H29.1月は休み)
日程 14:00～勤行と法話
15:00終了予定
講師 県内僧侶 (月替わり)

広島別院開基 教如上人の御命日 (毎月5日) に法話会があります。

真宗大谷派(東本願寺)広島別院明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342 (電話・FAX 共通)

【HPアドレス】 <http://hiroshimabetsuin.com/>

◎真宗基礎講座

2016年 12月17日(土)
2017年 2月18日(土)
4月15日(土)
6月24日(土)

毎回 13:30～16:00
講師 古田和弘 師
(大谷大学名誉教授)

参加費 500円

『歎異抄』を通して浄土真宗の基礎を学びます。